

電磁波シールドクロス施工マニュアル

シールド壁紙は従来のビニール壁紙と基本的に施工方法は同じです。ただし表面の装飾が目的の一般の壁紙と比べ、電磁波の進入を抑える目的で使用するのので、貼る面積は出来るだけ大きく、他のシールド素材との隙間を少なくする貼り方を採用して下さい。

下地について

下地が綺麗でないと壁紙も綺麗に仕上がりにません。下地に依じての処理を推薦します

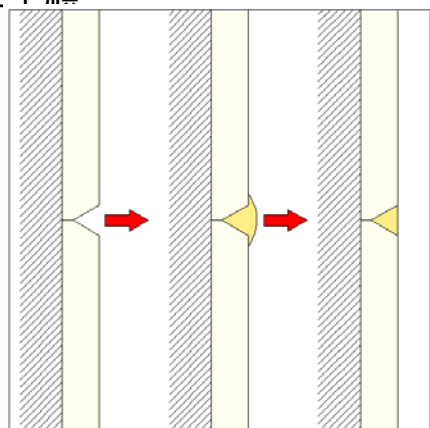
- ・石膏ボード下地 釘の頭は出ない様気を付け、錆止めし、つなぎ目の段差を専用パテで平らにして下さい
- ・モルタル下地 下地が粉っぽい時はシーラー剤を塗り、ひび割れはパテで埋めて下さい
- ・砂壁、繊維壁 下地をベニヤで作り直すか、パテで平らにして下さい
- ・ペンキ下地 サンドペーパーで浮いているペンキを除去し、シーラー剤を塗って下さい

施工に必要なもの

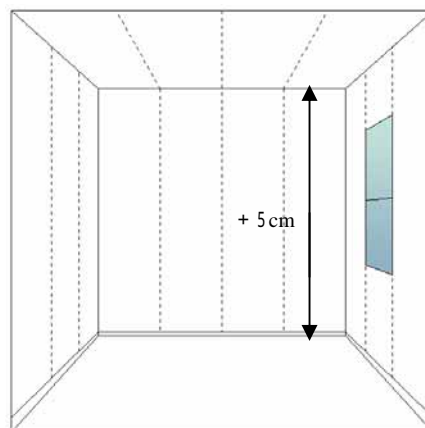
- カッター
- クロス押えハケ
- 地ベラ
- ローラー
- 定規

その他養生シート、糸と重り、等が必要となります

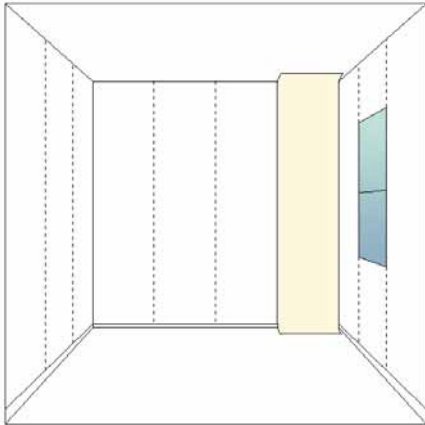
施工手順



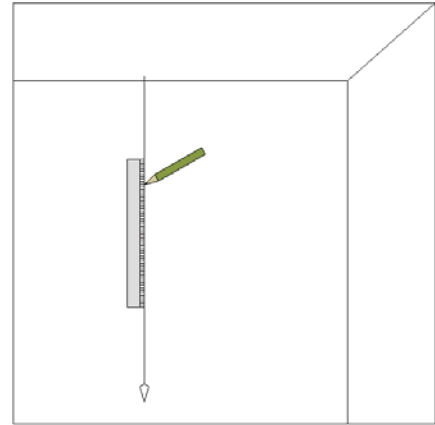
下地の段差等にはパテを盛り、紙ヤスリで平らにします



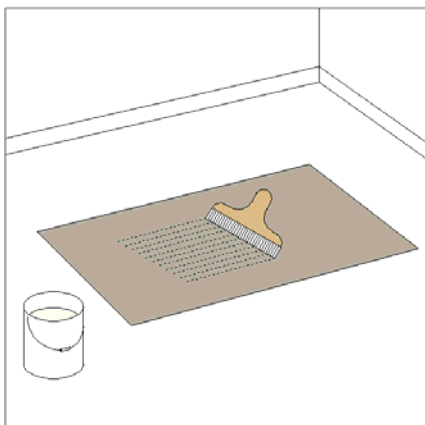
壁に貼る材料の割付を考え、貼る長さ+5cmの長さに切ります



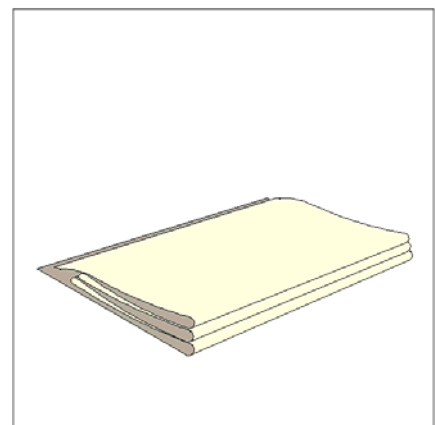
貼り付けの初めから順に左側へと
貼り進める材料の準備をします



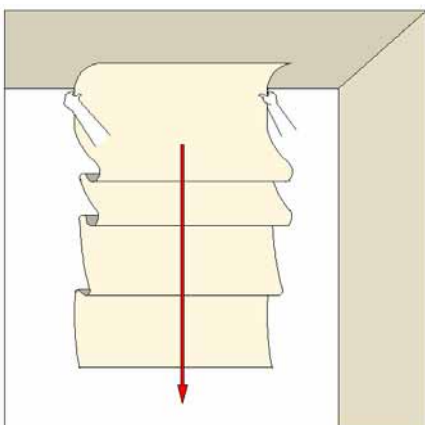
糸に重りを付け下げて垂直の基準線
を引きます



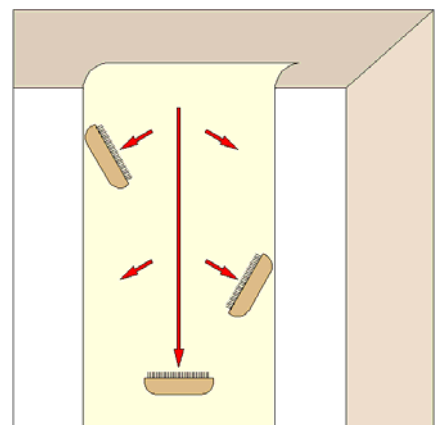
壁紙の裏に壁紙専用糊を塗ります



図のように糊の付いた面を内側になる様折
りたたむと取り扱いがし易くなります 注1

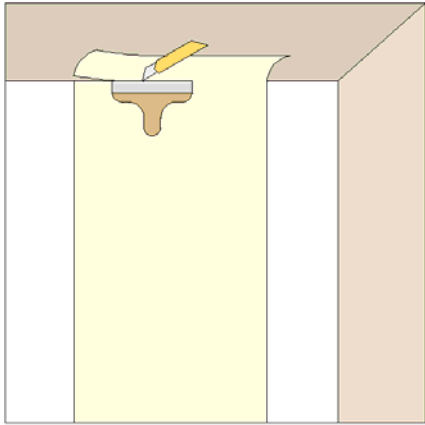


基準線に沿って上から下へ壁紙を延ばし
ます

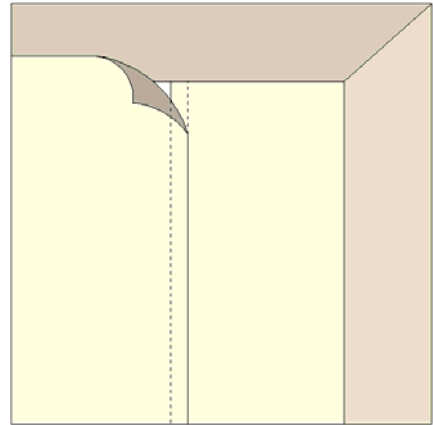


シワと空気を押えハケで伸ばします

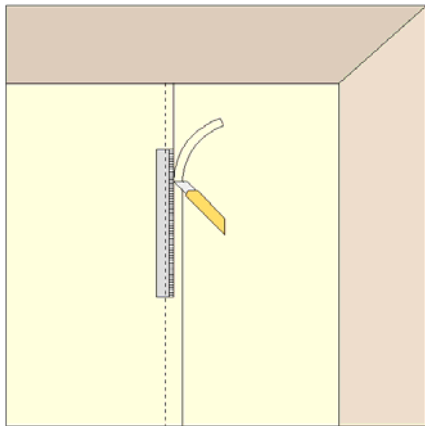
注1、余り長時間この状態にすると糊が乾き、施工出来なくなる場合がありますのでみやかな施工をお願いします
また、余り強く折り曲げると折り目が残る可能性があります、出来るだけゆるやかに曲げて下さい



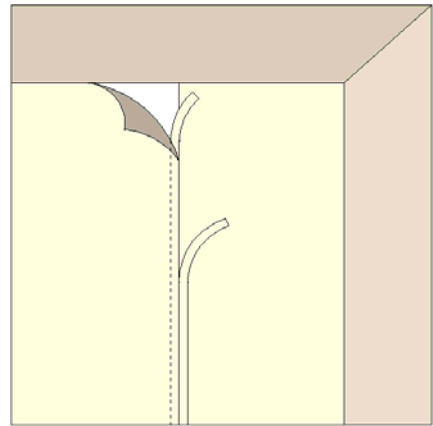
上、下の不要部分を地べらを当てながら切り離します 注2



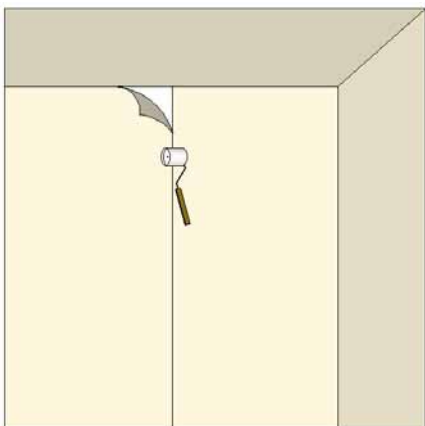
次の壁紙を2cm程度重なるように貼り込みます



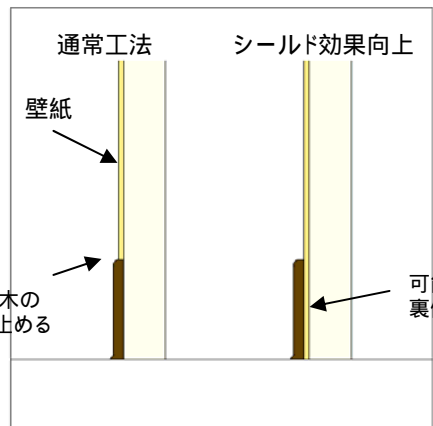
重なり中央に定規を当て切ります
あまり強く切りすぎると目地が開く恐れがあります



一枚目、二枚目の切り離した余分な部分を取り除きます



左右の壁紙をきれいに突き付けながらローラーで押さえていきます



通常は巾木の上まで止める

可能なら巾木の裏側まで貼る

壁紙の貼る範囲はシールド効果を考慮して出来るだけ広く施工して下さい

注2 で紹介している様にシールド効果を発揮するには出来るだけ広い範囲の貼り込みが有効です
切り落としは範囲を考慮して行って下さい